

## JPCOAR スキーマ(案)に関する意見募集 質問項目

昨今の学術情報流通の世界的な動向や周辺の技術的な変化に対応し、日本の学術的成果の円滑な流通を図るため、新たなメタデータスキーマの設計を実施しました。今回の改訂について、ご意見をお聞かせください。

機関名【必須項目】	<input type="text"/>
所属【必須項目】	<input type="text"/>
氏名【必須項目】	<input type="text"/>

1. オープンサイエンスおよびオープンアクセス方針に対応したデータ要素の追加と整理について  
公的研究助成を受けた学術成果へのオープン化を促進するため、アクセス権 (jpcoar:accessRights)、権利情報 (dc:rights)、権利者情報 (jpcoar:rightsHolder)、APC (rioxterms:apc) 等を記述するための要素を追加・拡充しました。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。【択一式】

- 賛同する
- 賛同しない
- どちらとも言えない

上記で「賛同しない」「どちらとも言えない」を回答された場合は、理由をお聞かせください。

APC について、以下のとおり支払い状況を記述できるようにする予定です。APC への対応について、ご意見をお聞かせください。【択一式】

- ・ Paid: 支払済み
  - ・ Partially waived: 一部免除
  - ・ Fully waived: 全て免除
  - ・ Not charged: 無料
  - ・ Not required: 不要
  - ・ Unknown: 不明
- 支払い状況のみ記述できれば良い
  - APC の価格まで記述できるようにすべき
  - APC は別システムで管理しているため、メタデータには必要ない

研究データ等のオープンサイエンスに対応するため、助成機関情報 (datacite:fundingReference)、バージョン情報 (datacite:version)、位置情報 (datacite:geolocation) 等を記述するための要素を追加・拡充しました。このような方向性について、

ご意見をお聞かせください。【択一式】

- 賛同する
- 賛同しない
- どちらとも言えない

上記で「賛同しない」「どちらとも言えない」を回答された場合は、理由をお聞かせください。

## 2. 識別子の拡充にともなうメタデータ構造の修正について

論文・研究者・機関の情報を正確に扱うために、資源識別子 (datacite:identifier)、関連識別子 (jpcoar:relatedIdentifier) を拡充し、著者・寄与者・機関の識別子を記述するための要素を追加しました。さらに、それらの情報をグルーピング (階層化) して記述できるようにしています。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。【択一式】

- 賛同する
- 賛同しない
- どちらとも言えない

上記で「賛同しない」「どちらとも言えない」を回答された場合は、理由をお聞かせください。

著者及び寄与者を正確に扱うために、識別子を記述するための要素を拡充しました。その語彙について、使用中または追加を希望するものがありまら、お聞かせください。【複数選択式】

- e-rad (府省共通研究開発管理システム研究者番号)\*  
\* 科研費等の日本の公的助成事業で使用されている研究者番号です。
- ORCID
- ISNI (国際標準名称識別子)
- VIAF (バーチャル国際典拠ファイル)
- その他

著者及び寄与者の所属機関を正確に扱うために、識別子を記述できる要素を拡充しました。その語彙について、使用中または追加を希望するものがありまら、お聞かせください。【複数選択式】

- kakenhi (科研費機関番号)
- ISNI (国際標準名称識別子)
- Ringgold (Ringgold 社の機関名称識別子)
- GRID (Digital Science 社の機関名称識別子)
- その他

### 3. 国際的に相互運用性の高いデータ交換のためのスキーマ定義について

学術情報の流通性を高め、国際的なデータ連携に対応するために、以下の標準的なスキーマ定義を取り入れています。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。

- ・ OpenAIRE
- ・ DataCite
- ・ COAR
- ・ DC-NDL
- ・ Dublin Core
- ・ The Bibliographic Ontology
- ・ RIOXX

他にも参照すべきスキーマ定義がありましたら、記述してください。

資源タイプ (coar:resourceType) について、COAR が策定した語彙を採用し、COAR の語彙に該当するものない紀要論文 (departmental bulletin paper)、記事 (article)、教材 (learning material) については、国内のみで流通する語彙としています。また、COAR の全ての語彙を採用するのではなく、現時点で使用頻度が低い又は用途が想定されにくい語彙は、当面不使用としています。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。

### 4. 各機関リポジトリでのデータ作成とデータ提供の方式の変更について

システム改修等への影響を最小限に抑えるために、通信プロトコルは OAI-PMH を維持し、当面は junii2 でのハーベスティングも可能とする予定です。このような方向性について、ご意見をお聞かせください。【択一式】

- 賛同する
- 賛同しない
- どちらとも言えない

今回の改訂により、運用上・システム上で懸念されることがありましたら、記述してください。

上記に回答した場合、使用しているシステム名を教えてください。【択一式】

- JAIRO Cloud
- DSpace

- Earmas
- XooNlps
- その他

改訂にあたり、以下のドキュメントを公開する予定です。他に必要なドキュメント等がありましたら記述してください。

- ・ ガイドライン(JPCOAR Schema ガイドライン(案))
- ・ 定義ドキュメント  
(「[https://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/junii2\\_elements\\_guide\\_ver3.1.pdf](https://www.nii.ac.jp/irp/archive/system/pdf/junii2_elements_guide_ver3.1.pdf)」の改訂版)
- ・ XML スキーマ定義(「<http://irdb.nii.ac.jp/oai/junii2-3-1.xsd>」の改訂版)
- ・ 他のスキーマとのマッピング表(oai-dc、OpenAIRE、JaLC2、junii2、DC-NDL)

#### 5. その他

JPCOAR スキーマは平成 29 年度後半に学術機関リポジトリデータベース(IRDB)に実装し、平成 30 年度に JAIRO Cloud に実装する予定です。今後のスケジュールについて、ご意見をお聞かせください。【択一式】

- もっと早く実装すべきである
- 適切である
- 実装時期を遅らせるべきである

上記の理由をお聞かせください。

不足している要素や語彙がありましたら、使用例も含めて具体的にお聞かせください。

その他、ご意見等をお聞かせください。